

## 平成18年度第1回公益事業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 日 時 平成18年6月27日(木) 午後4時～6時10分
2. 場 所 日本自転車振興会 7A会議室
3. 出席者 委員 小松隆二、栃本一三郎、西貝宏伸、宮嶋泰子、山岸秀雄  
(敬称略)  
本会 下重会長(途中退出)、猪野理事、浅川部長、宮田課長、佐藤課長
4. 議 題 (1) 公益事業振興補助事業の現状について  
(2) 補助方針の見直しの基本的な考え方(案)について  
(3) その他
5. 議事要旨
  - (1) 開会
    - ・下重会長より挨拶。
    - ・委員長に小松委員を選出。委員長代理に栃本委員を指名。
  - (2) 議題1. 公益事業振興補助事業の現状について  
(質疑応答の内容は以下のとおり( は委員の発言 は本会側の発言))  
(議題に対する質疑)  
なし。
  - (3) 議題2. 補助方針の見直しの基本的な考え方(案)について  
(質疑応答の内容は以下のとおり( は委員の発言 は本会側の発言))  
(議題に対する質疑)  
補助方針の見直しは社会福祉の分野で先に進み過ぎている面がある。例えば、生活保護施設を補助対象から外すのはどうなのか。  
検討する。

都道府県共同募金会の推薦限度額を2千万円に削減することにより現場が混乱する可能性があるのでは。

対象を福祉車両と機器整備に限定するので、混乱はないと思う。

病児保育（病気の児童の保育）を補助メニューに追加できないか。

病気の子供を預かるということなので慎重に検討する。

補助事業を総花的に行うのではなく、子供、障害者、ホームレス等弱者の支援策を日自振は強化することが、結果として、日自振のアピールにもつながるのでは。

公益補助は競輪の売上金の一部を幅広く世の中に還元するのが法律の趣旨。その中で、その時々社会的要請に応じ特色を持たせるよう工夫している。

日自振は補助事業をもっとPRすべき。

- ・ 次回の開催は、7月19日を予定。

（４）閉会

以上